

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月30日 (2010.4.30)

【公表番号】特表2009-532494(P2009-532494A)

【公表日】平成21年9月10日 (2009.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-036

【出願番号】特願2009-504386(P2009-504386)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/165 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/165

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 9/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月12日 (2010.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

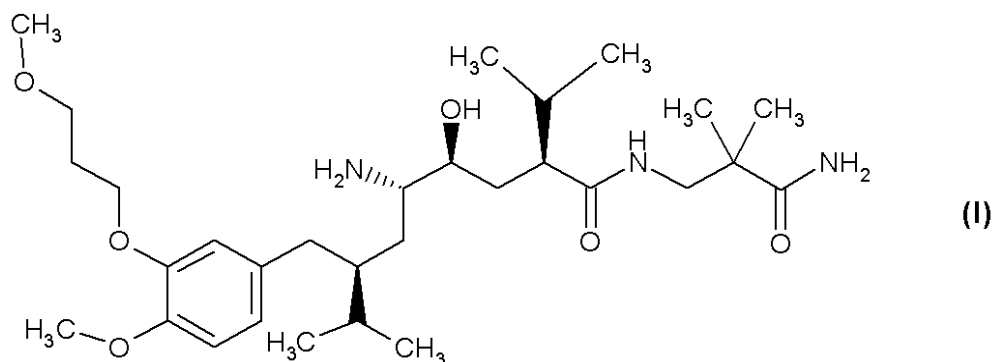
【請求項 1】

レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を含む、高血圧の予防、進行遅延または処置のための薬剤であって、抗高血圧効果がレニン阻害剤の投与の中止後(beyond cessation)も持続する、薬剤。

【請求項 2】

レニン阻害剤が式 (I)

【化 1】



の化合物または薬学的に許容されるその塩である、請求項 1 に記載の薬剤。

【請求項 3】

抗高血圧効果が 3 日間以上持続する、請求項 1 または 2 に記載の薬剤。

【請求項 4】

抗高血圧効果が 10 日間以上持続する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 5】

抗高血圧効果が 2 1 日間以上持続する、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 6】

抗高血圧効果が 2 ～ 5 週間持続する、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 7】

抗高血圧効果が 4 週間持続する、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 8】

抗高血圧効果が突然の中止後も持続する、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 9】

抗高血圧効果が、その時々の中止後も持続する、請求項 1 から 8 に記載の薬剤。

【請求項 10】

中止がレニン阻害剤投与の完全なまたは間欠性の停止、またはそれ自体では温血動物における高血圧の処置に有効ではない低用量のレニン阻害剤の投与を意味する、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 11】

中止が、治療中のレニン阻害剤投与の間欠性停止を意味する、請求項 1 から 10 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 12】

抗高血圧効果が、90 mmHg 未満の平均座位拡張期血圧を意味する、請求項 1 から 11 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 13】

抗高血圧効果が 88 mmHg 未満の平均座位拡張期血圧を意味する、請求項 1 から 12 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 14】

抗高血圧効果が 140 mmHg 未満の平均座位収縮期血圧を意味する、請求項 1 から 13 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 15】

抗高血圧効果が 138 mmHg 未満の平均座位収縮期血圧を意味する、請求項 1 から 14 のいずれかに記載の薬剤。

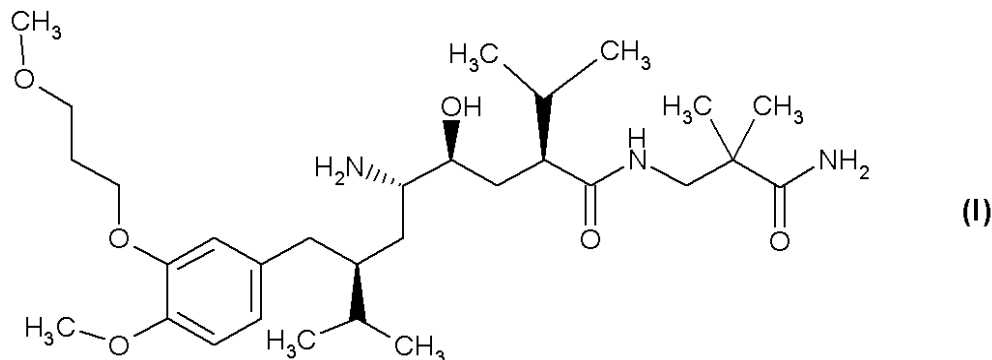
【請求項 16】

血圧が、レニン阻害剤の投与中止後少なくとも 5 日間にわたり基線値に戻らない、レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を含む高血圧の予防、進行遅延または処置のための薬剤。

【請求項 17】

レニン阻害剤が式 (I)

【化 2】



の化合物または薬学的に許容されるその塩である、請求項 16 に記載の薬剤。

【請求項 18】

血圧が 4 週間までの期間にわたり基線値に戻らない、請求項 16 または 17 に記載の薬剤。

【請求項 19】

血圧が突然の中止後少なくとも５日間にわたり基線値に戻らない、請求項１６から１８のいずれかに記載の薬剤。

【請求項２０】

血圧が、その時々の中止後少なくとも５日間にわたり基線値に戻らない、請求項１６から１９のいずれかに記載の薬剤。

【請求項２１】

中止がレニン阻害剤投与の完全なまたは間欠性の停止、またはそれ自体では温血動物における高血圧の処置に有効ではない低用量のレニン阻害剤の投与を意味する、請求項１６から２０のいずれかに記載の薬剤。

【請求項２２】

中止が、治療中のレニン阻害剤投与の間欠性停止を意味する、請求項１６から２１のいずれかに記載の薬剤。

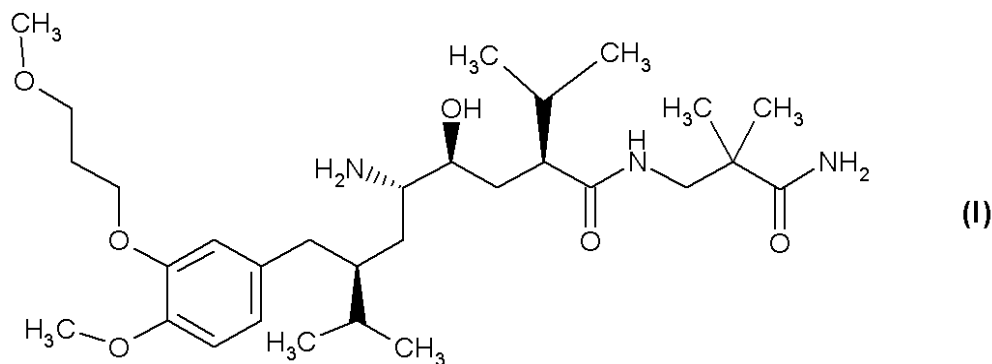
【請求項２３】

レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を含み、ここで、レニン阻害剤投与中止後にリバウンド高血圧が観察されない、高血圧の予防、進行遅延または処置のための薬剤。

【請求項２４】

レニン阻害剤が式(Ⅰ)

【化３】



の化合物または薬学的に許容されるその塩である、請求項２３に記載の薬剤。

【請求項２５】

リバウンド高血圧が４週間までの期間にわたり観察されない、請求項２３または２４に記載の薬剤。

【請求項２６】

リバウンド高血圧が突然の中止後観察されない、請求項２３から２５のいずれかに記載の薬剤。

【請求項２７】

リバウンド高血圧がその時々の中止後観察されない、請求項２３から２６のいずれかに記載の薬剤。

【請求項２８】

中止がレニン阻害剤投与の完全なまたは間欠性の停止、またはそれ自体では温血動物における高血圧の処置に有効ではない低用量のレニン阻害剤の投与を意味する、請求項２３から２７のいずれかに記載の薬剤。

【請求項２９】

中止が、治療中のレニン阻害剤投与の間欠性停止を意味する、請求項２３から２８のいずれかに記載の薬剤。

【請求項３０】

リバウンド高血圧が、投与中止中のどこかの時点での基線値よりも高い拡張期血圧または収縮期血圧を意味する、請求項２３から２９のいずれかに記載の薬剤。

【請求項３１】

リバウンド高血圧が基線値よりも > 5 mmHg 高い拡張期血圧を意味する、請求項 23 から 30 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 32】

リバウンド高血圧が基線値よりも > 10 mmHg 高い収縮期血圧を意味する、請求項 23 から 31 のいずれかに記載の薬剤。

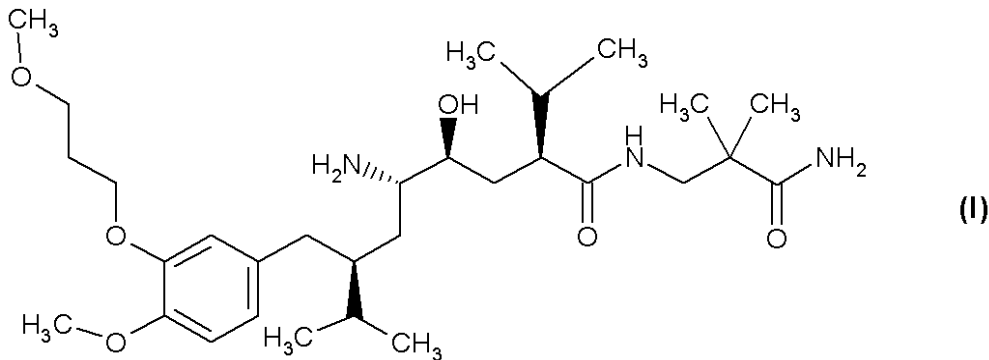
【請求項 33】

レニン阻害剤または薬学的に許容されるその塩を含む、高血圧処置の中止に関連する二次的合併症を予防する薬剤。

【請求項 34】

レニン阻害剤が式 (I)

【化 4】



の化合物または薬学的に許容されるその塩である、請求項 33 に記載の薬剤。

【請求項 35】

二次的合併症がリバウンド高血圧である、請求項 33 または 34 に記載の薬剤。

【請求項 36】

二次的合併症が、心筋梗塞および卒中から成る群から選択されるもののような心臓合併症である、請求項 33 または 34 に記載の薬剤。

【請求項 37】

中止が突然の中止を意味する、請求項 33 から 36 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 38】

中止がその時々で起こる、請求項 33 から 37 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 39】

中止がレニン阻害剤投与の完全なまたは間欠性の停止、またはそれ自体では温血動物における高血圧の処置に有効ではない低用量のレニン阻害剤の投与を意味する、請求項 33 から 38 のいずれかに記載の薬剤。

【請求項 40】

中止が、治療中のレニン阻害剤投与の間欠性停止を意味する、請求項 33 から 39 のいずれかに記載の薬剤。